



CONTENTS

理事長就任にあたって.....	1
日本食物繊維学会第12回学術集会プログラム.....	2-7
編集委員会より.....	8

 **理事長就任にあたって** 

池上 幸江 (大妻女子大学)

印南敏先生、池田義雄先生の二代の理事長の下に、日本食物繊維研究会から学会と前進の道程をたどって、学会基盤は確かなものとなってきました。昨年9月の常務理事会で、突然次期理事長のご指名をいただき、覚悟もないままにお引き受けすることになりました。本年4月から理事長となり、これからの学会のあり方を考え続けております。幸い、新常務理事も加わり、新たなエネルギーが吹き込まれて、学会の飛躍が期待されそうです。学会の発展のためには、若い方々がルミナコイドの研究に情熱を注げる環境をどう作っていくかがこれからの課題だと思います。

ルミナコイドの研究課題は少なくはないと思います。基礎の分野ではまだまだ未開拓な研究課題があります。次回学術集会の演題からも新たな息吹が感じられます。今回の発表ではメタボリックシンドロームとの関係を観る基礎研究がありますが、そのメカニズムはこれからの課題です。糖代謝や脂質代謝の機構に関する研究も決着がついていません。消化管免疫との関連も興味のある課題です。これらの研究はさらに遺伝子レベルの研究への発展もあるでしょう。

他方、食物繊維やオリゴ糖はわが国では世界に先駆けて特定保健用食品などとして実用化に結実していますが、新たな素材や機能の研究も賛助会員企業のご活躍に期待したいところです。

また、人の健康に対するルミナコイドの役割は十分には解明されていません。そんな中で、最近、アメリカ合衆国やヨーロッパでは食物繊維の摂取と疾病発症の関連について、疫学研究が進んでいます。残念ながら、わが国では食物繊維やオリゴ糖摂取と健康の関連については厚生労働省の多目的コホートでわずかなデータが発表されているに過ぎません。食事摂取基準でも設定根拠が十分でないために、幼児や学童期、あるいは高齢者については設定されていません。

定義や定量法についても国際的な課題になっています。学会でもここ数年部会として取り組み、一定の成果を挙げてきましたが、国際的な認知を高める必要があります。

このように学会には多くの課題がありますが、会員の皆様とご一緒に私も学会発展のために努力したいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

第12回学術集会プログラム

会 場 クラウンプラザ神戸 9F ローズマリー
 (兵庫県神戸市中央区北野町1丁目1)
学術集会長 大隈一裕 (松谷化学工業株式会社)

第12回学術集会は、以下の要領で開催いたします。今回の学術集会では、今話題となっておりますメタボリックシンドロームを話題に取り上げたシンポジウムを計画しております。食物繊維はメタボリックシンドロームの予防、改善にどのように寄与できるのか、新たな視点を見つけることが出来ればと考えております。

1. 行事日程

11月9日(金)

9:30 ~ 12:00	一般演題発表 1-1 ~ 1-10
13:15 ~ 14:15	評議員会, 総会
14:15 ~ 15:30	特別講演
15:30 ~ 18:00	シンポジウム
18:00 ~ 20:30	懇親会 (クラウンプラザ神戸 9F カモミール)

11月10日(土)

9:30 ~ 11:30	一般演題発表 2-1 ~ 2-8
11:45 ~ 12:00	奨励賞授与式
13:00 ~ 16:00	市民公開講演会 (クラウンプラザ神戸 9F カモミール)

2. 参加者への御案内

1) 学術集会受付

受付は開始30分前より行います。参加費・会場費(講演要旨集代込み)として、正会員3,000円、学生会員1,500円、非会員4,000円を申し受けます。

2) クローク

クロークはホテルのクロークがご利用になれます。

3) 昼食

昼食は、ホテル内のレストランの他、三宮地区に多数ありますので、こちらをご利用下さい。

4) 宿泊の手配など

宿泊は、会場のクラウンプラザ神戸ならびに会場の周辺のホテルなどが便利です。事務局では、宿泊の斡旋をいたしませんのでご了承下さい。

5) 懇親会

シンポジウム終了後に懇親会を開催いたします。当日、受付で申し込んでください。会費は4500円（学生3000円）です。

日時 11月9日（金） 18:00～

場所 クラウンプラザ神戸9F カモミール

6) 連絡先

松谷化学工業株式会社 研究所内

第12回日本食物繊維学会学術集会事務局 田上広幸

〒664-8508 兵庫県伊丹市北伊丹5丁目3番地

Tel : 072-771-2052 Fax : 072-771-2023

E-mail : hiroyuki-tagami@matsutani.co.jp

7) 神戸ビーフを楽しむ会

日時 : 11月8日（木） 19:00～

場所 : 神戸ステーキレストラン モーリヤ 三ノ宮店

神戸市中央区下北長狭通1丁目9-9 第一岸ビル3F Tel : 078-321-1990

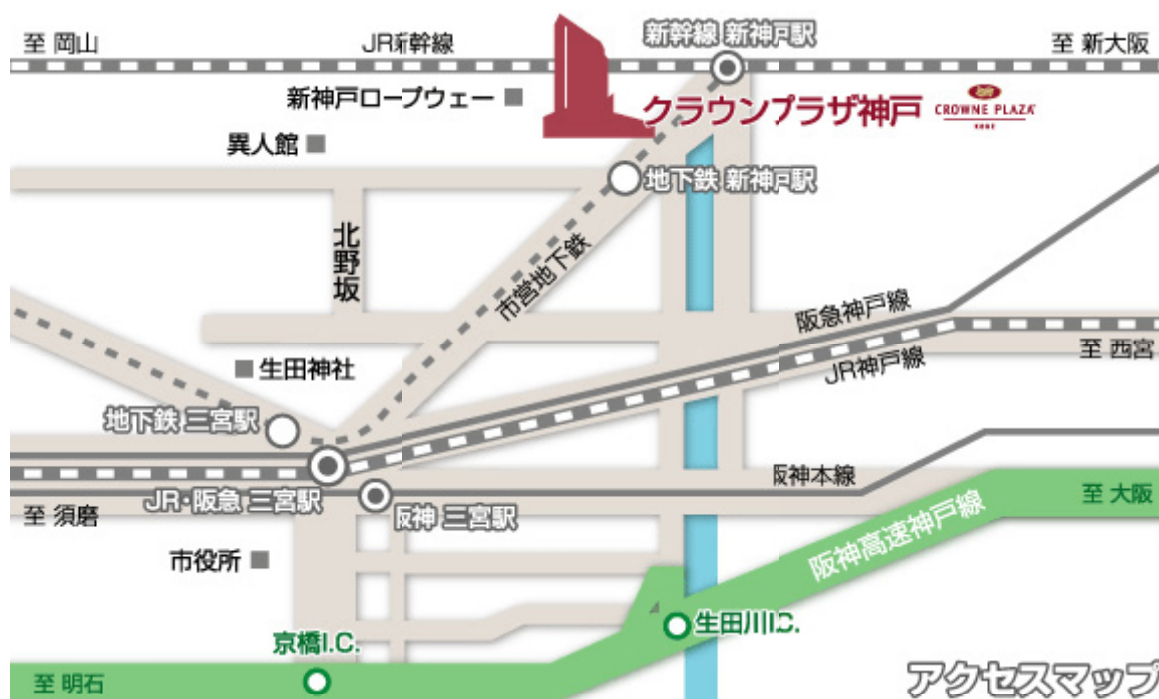
<http://www.mouriya.co.jp/sannomiya/index.html>

(参加者が増えたため、場所を変更しました。)

会費 : 10,000円

8) 学術集会会場への交通案内

学術集会の会場であるクラウンプラザ神戸は、山陽新幹線「新神戸駅」に直結しています。また、JR、阪神、阪急の三宮駅からは神戸市営地下鉄をご利用頂き、「新神戸駅」で下車しますと地下鉄駅に直結しています。



一般講演プログラム

第1日目 11月9日(金) 9:30-12:00

時刻 演題番号

演 題

座長：岸田太郎 (愛媛大学)

- 9:30 1-1 母マウスへの難消化性オリゴ糖投与による仔マウスの腸内細菌叢とアレルギー反応の制御
藤原麗子¹, 渡辺 純², 園山 慶¹ (1 北大院・農, 2 北大・創成研)
- 9:45 1-2 海藻の食物繊維がラットにおけるD-ガラクトサミン肝障害の発症に及ぼす影響
川野直子^{1,2}, 江頭祐嘉合¹, 真田宏夫¹ (1 千葉大院・自然, 2 聖徳大・人栄)
- 10:00 1-3 水溶性食物繊維が大豆イソフラボンの生体利用性に及ぼす影響
石見佳子¹, 大友拓弥^{1,2}, 上原万里子³, 武田 健² (1 国立健康・栄養研, 2 東京理科大学, 3 東京農業大学)

座長：江頭祐嘉合 (千葉大学)

- 10:15 1-4 難消化性デキストリンの腸部の健康および免疫維持に対する影響
Daniel Wils¹, Catherine Lefranc-Millot¹, Laetitia Deremaux¹, Marie Helene Saniez-Degrave¹, Christel Rousseaux², Pierre Desreumaux²
(1Roquette Group, Lestrem France, 2Unite INSERM (U795), Hopital Pierre Swynghedauw, Lille France)
- 10:30 1-5 粒度の異なる小麦フスマが大腸発酵および大腸粘膜に与える影響
西村直道, 藤本千恵, 山本達朗, 太田 徹 (名寄市大・保健福祉・栄養)

座長：中村禎子 (県立長崎シーボルト大学)

- 10:45 1-6 β -グルカン含有大麦の摂取が日本人男性のメタボリックシンドローム関連指標に及ぼす影響
清水千賀子¹, 木原 誠², 青江誠一郎³, 荒木茂樹¹, 伊藤一敏², 金子隆史¹, 林 勝弘², 渡 淳二¹, 池上幸江³ (1 サッポロビール(株)・価値創造フロンティア研究所, 2 サッポロビール(株)・バイオ研究開発部, 3 大妻女子大学・家政学部)
- 11:00 1-7 脂質代謝に及ぼす難消化性デンプンの摂取効果について
奥村久美子, 中川智行, 早川享志 (岐阜大院・農学研究科)
- 11:15 1-8 短鎖脂肪酸が内臓脂肪細胞の脂質蓄積, アディポサイトカインの分泌に与える影響
西向めぐみ¹, 伊藤 進¹, 原 博² (1 北大・創成研, 2 北大院・農)

座長：倉沢新一 (関東学院大学)

- 11:30 1-9 食物繊維による摂食抑制仮説; オーフアンレセプター GPCR を介するレプチン産生調節
山岸あづみ^{1,2}, 金 哲民¹, 関家麻奈未¹, 細田明美³, 荻布智恵¹, 金 東浩¹, 佐伯 茂¹ (1 大阪市大院・生活科学, 2 山形大・地域教育, 3 東京医療保健大・医療保健)
- 11:45 1-10 ビートファイバーによるラットの飼料摂取量および体脂肪の変動
～摂食パターンと3食制からのアプローチ～
瀬嶋宏一, 鈴木昭博, 森本明代, 岸田太郎, 海老原 清 (愛媛大・農)

第2日目 11月10日(土) 9:30-11:30

時刻 演題番号

演 題

座長：早川享志（岐阜大学）

- 9:30 2-1 ヒドロキシプロピルデンプンに含まれる難消化性成分の性質
西端豊英¹，田代晃一¹，立部 誠¹，加藤 良²，海老原 清²
(1 松谷化学工業(株) 研究所，2 愛媛大・院・栄養科学)
- 9:45 2-2 ヒドロキシプロピルデンプンの耐糖能改善効果
加藤 良¹，岸田太郎¹，海老原 清¹，立部 誠²，菅野祥三²
(1 愛媛大・院・栄養科学，2 松谷化学工業(株) 研究所)
- 10:00 2-3 常法および改良簡便法の食物繊維測定キットを用いた酵素-HPLC法による難消化性オリゴ糖定量法の検討
田辺賢一，中村禎子，奥 恒行（県立長崎シーボルト大・院・人間健康科学研究科）

座長：森田達也（静岡大学）

- 10:15 2-4 湿熱処理高アミロースデンプンの消化管内動態
- 高アミロースデンプンとの比較において -
佐津川 満¹，伊藤祐介¹，森田達也¹，桐山修八²（1 静大・農，2 静岡県大）
- 10:30 2-5 高アミロース米と水溶性食物繊維を併用した米菓の血糖上昇抑制効果
金子 愛¹，笹川克己¹，竹石欣司¹，峰尾 茂¹，佐藤眞治²，小西徹也²，
佐藤達也³，菅原正義³（1 ㈱ブルボン・健康研，2 新潟薬科大・応生，
3 長岡高専・物質工）
- 10:45 2-6 ビーフンのグリセミックインデックスに及ぼす調理法の影響
福村圭史¹，佐藤眞治²，小西徹也²，西山紋恵¹（1 ケンミン食品(株)，2 新潟薬大・
応生）

座長：田所忠弘（東京農業大学）

- 11:00 2-7 食品摂取後の血糖ならびにインスリンの応答と呼気水素ガス排出動態を指標としたグリセミックインデックスの妥当性とその限界
中村まり子，中村禎子，奥 恒行（県立長崎シーボルト大・院・人間健康科学研究科）
- 11:15 2-8 大麦焼酎の製造工程における大麦の形態ならびに成分変化
梅木美樹¹，川里浩明²，安田愛子²，古屋マミ²，外菌英樹³，大森俊郎³，
望月 聡¹（1 大分大・教育福祉，2 大分大・総合科学研究支援センター，
3 三和酒類(株)・フロンティア研究所）

特別講演・シンポジウム プログラム

11月9日（金）14：15～15：30

特別講演

司会：永田保夫（大塚製薬株式会社）

"Obesity and the Glycaemic Index"
Geoffrey Livesey Ph.D. (Independent Nutrition Logic)

11月9日（金）15：30～18：00

シンポジウム メタボリックシンドロームと食物繊維

時刻	演 題
	座長：海老原 清（愛媛大・農）
15：30	1. メタボリックシンドロームと食物繊維 -基礎栄養の視点から- 青江誠一郎（大妻女子大・教授）
16：10	2. メタボリックシンドロームと食物繊維 -実践指導の視点から- 「メタボリックシンドロームに対する保健指導の可能性」 野口 緑（尼崎市環境市民局市民部国保年金課・課長補佐）
16：50	3. メタボリックシンドロームと食物繊維 -医師の立場から- 徳永 勝人（高槻社会保険健康管理センター・センター長）
17：30	総合討論 総括

市民公開講演会のお知らせ

11月10日（土）13：00～16：00

クラウンプラザ神戸9F カモミール

司会 大隈 一裕（松谷化学工業株式会社）

テーマ 食物繊維のはたらき，現状，メタボリックシンドローム

1. メタボリックシンドロームと食物繊維に関する話題

タニタ体重科学研究所 所長 池田 義雄

2. 食物繊維の種類とはたらき

県立長崎シーボルト大学 教授 奥 恒行

3. 食物繊維の現状と今後

大妻女子大学 教授 池上 幸江

講演者、討論者、座長へのお願い

1) 講演

講演時間は、発表12分、討論3分（10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴）です。発表は液晶プロジェクターとPC（Windows XP）を用意いたします。発表用のスライドをPower PointのデータとしてCD、FD、メモリースティックでご用意下さい。ご自分のPCをお持ち下さっても対応させていただきます。特に、Macintoshで用意されておられる方はPCをご持参下さる方が無難です。

2) 討論

質問者は座長の指示に従い、所属と氏名を述べてからご発言ください。

3) 座長へのお願い

運営の都合上、当該時間の30分前までに会場へ到着し、受付に出席している旨をお知らせください。

発表演題についての質問が少ない時は、その周辺の問題に関連した話題などを引き出してください。ただし、指定時間は厳守してください。



本年度日本食物繊維学会奨励賞の申請のご案内

若手研究員（学会年度3月31日で40歳未満）の入会と発表を奨励する目的で、平成16年度より日本食物繊維学会奨励賞が設けられました。学術集会で筆頭者として発表する方は応募いただきますようお願いいたします。賞状と副賞が授与されます。なお、応募用紙はホームページに掲載されています。

奨励賞申請資格：

本年度3月31日現在で満40歳未満の本学会の会員が、第12回日本食物繊維学会学術集会において筆頭者として発表を行った研究報告の発表者を対象とする。

審査と表彰：

学術集会開催期間中に、奨励賞選考委員会で決定し、表彰する。

申請宛先：

原則としてメール（添付書類）で受け付ける。

第12回日本食物繊維学会学術集会事務局 田上広幸

E-mail：hirokyu-tagami@matsutani.co.jp

締め切り期日：

平成19年11月5日必着

編集委員会より

本年11月8、9日両日に渡り松谷化学工業株式会社・大隈一裕氏を学術集会長に第12回学術集会が開催されます。今回は「メタボリックシンドロームと食物繊維」と題したシンポジウムが企画されています。また、一般演題にも新しいテーマが増えてきており、今後の研究の発展が期待されます。シンポジウムと本学術集会に多数の食物繊維・ルミナコイド研究者が集まり活発な討論が行われることを期待します。また、巻頭言にもありましたが、池上理事長の体制になり、学会活性化の取り組みが行われるようです。是非とも日本で唯一の食物繊維、ルミナコイドに関する専門学会をご支援いただきますようお願いいたします。

(青江)

会員状況：平成19年10月15日現在

●正会員	205名	●学生会員	12名	●賛助会員	45社
●団体会員	4団体	●名誉会員	10名		

【賛助会員】

旭化成ケミカルズ株式会社
株式会社アドバンス
株式会社荻野商店
社団法人菓子・食品新素材技術センター
サントリー株式会社
昭和産業株式会社
第一出版株式会社
大和化成株式会社
ダニスコジャパン株式会社
日清ファルマ株式会社
日本ケログ株式会社
日本バイオコン株式会社
株式会社林原生物化学研究所
富士バイオ株式会社
雪印乳業株式会社

朝日食品工業株式会社
伊那食品工業株式会社
株式会社カイゲン
コロイド・ナチュレルジャパン株式会社
三和澱粉工業株式会社
株式会社カーギルジャパン
大日本住友製薬株式会社
大和薬品株式会社
株式会社東洋新薬
日本甜菜製糖株式会社
財団法人日本こんにやく協会
ニュートリヴァ・ジャパン株式会社
フィプロ製薬株式会社
松谷化学工業株式会社
塩水港精糖株式会社

ユニチカ株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社J-オイルミルズ
佐合食品工業株式会社
清水化学株式会社
全国精麦工業協同組合連合会
太陽化学株式会社
キリンフードテック株式会社
日清食品株式会社
日本エヌエスシー株式会社
日本食品化工株式会社
株式会社はくばく
フジ日本精糖株式会社
明治製菓株式会社
ロケットジャパン株式会社
(順不同)



日本食物繊維学会

Newsletter No.24

発行日 : 2007年10月26日
発行人 : 日本食物繊維学会理事長 池上幸江
編集人 : 真田宏夫, 青江誠一郎
印刷所 : 江戸クリエート株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-10
三翔ビル本郷3階

日本食物繊維学会事務局
〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
独立行政法人 国立健康・栄養研究所
食品保健機能プログラム気付
TEL : 03-3203-8063, FAX: 03-3205-6549
<http://jdf.umin.ne.jp>